

## 一般社団法人常盤工業会 令和4年度事業報告

令和4年度（令和4年4月1日より令和5年3月31日まで）における事業概要を以下に報告する。

### I. 法人の状況

#### 1. 会員の異動

(1) 令和4年度末の会員数

令和5年3月31日現在

	会 員		正会員		正会員数の割合 (会費納入率)	
	会員数	前年度比	正会員数	前年度比	4年度	前年度
学生以外	26,336名	+401名	6,538名	-780名	24.8%	28.2%
学 生	3,024名	+59名	1,687名	-60名	55.8%	58.9%
合 計	29,360名	+462名	8,225名	-839名	28.0%	31.3%

(2) 令和4年度に死亡確認をした会員数 98名

#### 2. 会議等開催状況

(1) 定時総会 令和4年6月11日（ハイブリット形式）

令和3年度事業報告および決算報告について原案どおり承認された。令和4年度事業計画および収支予算について報告した。

(2) 理事会 4回

令和4年5月26日（オンライン会議）、令和4年10月13日（オンライン会議）、令和5年1月27日（メール協議）、令和5年3月27日（ハイブリット形式）

(3) 監 査 1回

令和4年4月26日

(4) 役員会 4回

令和4年5月13日、令和4年9月27日、令和4年11月29日、令和5年2月28日

(5) 工学部との協議会 1回

令和5年1月10日

#### 3. 会計状況

(1) 決算について

①事業活動収入総額は、前期比671,192円減の51,673,064円であった。内訳は以下のとおり。

- ・年会費は前期比より微増したが、終身会費は引き続き減少傾向にある。
- ・施設賃貸料収益が、新型コロナウイルスの影響で落ち込んでいたが、回復を見せ始めた。

②経常費用総額は、前期比1,333,386円減の41,354,224円であった。内訳は以下のとおり。

- ・新規テナント（ふかの）の入居に伴い、ドアの改修工事を行った。
- ・ホームページの内容を充実させるとともに、スマートフォンやタブレット端末での閲覧に対応できるようリニューアルした。

(2) 令和4年度会費の状況

①年会費 4,128,000円（前年度 3,396,000円）

②終身会費 38,637,500円（前年度 43,237,500円）（対象者 584人中 290名）

〔令和4年度入学生(対象者)数に対する終身会費一括納入者・自払手続者数の割合は 49.7%〕  
参考：R3年度入学生 47.7%、R2年度入学生 51.7%

## II. 事業活動

### II-1 工学に関する教育研究の振興ならびにこれらに関する人材育成に資する事業

#### 1. 講演会・講習会等の開催

##### (1) 常盤アドバンスドレクチャー 2022「未来を切り開く技術開発」

常盤アドバンスドレクチャー実行委員会（委員長：柿本雅明、工化 50）の企画のもと、山口大学工学部卒業生、在学学生を対象として、常盤工業会主催、山口大学工学部共催で以下のとおり開催した。

##### 第 1 回講座（参加申込者数：74 名）

開催日：令和 4 年 6 月 11 日（土）15：15～

開催場所：常盤工業会会館

開催方法：Zoom・YouTube によるオンライン配信（総会出席者は対面）

講座：『半導体発光デバイスの研究開発動向～深紫外 LED を中心に～』

講師：山田陽一先生 [山口大学新工学部長、電気電子工学科教授]

##### 第 2 回講座（参加申込者数：90 名）

開催日：令和 4 年 10 月 8 日（土）15：00～16：30

開催場所：港区立産業振興センターホール小（札の辻スクエア内）

開催方法：対面およびオンライン配信（Zoom・YouTube）

講座：『持続可能な社会を目指した脱炭素エネルギーへの展開』

講師：松永 烈氏（院資源 51 年修了／産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門名誉リサーチャー）

##### (2) 山口大学工学部ホームカミングデー「卒業生講演会」

3 年ぶりに第 5 回工学部ホームカミングデーが開催された。過去 4 回は卒業生を講師として卒業生講演会を開催していたが、令和 4 年度は工学部側の意向で学外から講師を招いて特別講演会を開催した。

#### 2. 講演会・講習会等開催に対する支援

「ちじょう IT 勉強会」の支援

「ちじょう IT 勉強会」（運営リーダー：知情 H27 越智 郁）が令和 4 年度に実施した事業活動に対して助成を行った。

#### 3. 山口大学工学部の支援および連携事業

##### (1) 山口大学工学部への寄付

山口大学工学部教育支援（「常盤工業会奨学金」等の原資）として寄付を行った。

##### (2) 山口大学工学部との連携事業

令和 4 年 11 月 5 日（土）に第 5 回工学部ホームカミングデーが 3 年ぶりに開催され（本会は共催）、特別講演会、キャンパスツアー、学生研究成果ポスター展示等が企画実施された。ちらし・リーフレット作成費用として経費の一部を負担した。

#### 4. 工学部学生支援事業

##### (1) 「常盤賞」表彰

令和 5 年 3 月 9 日に表彰式を行い、学業優秀者（学部生・博士前期課程学生）21 名および工

学系数学統一試験成績優秀者 1 名、計 22 名を表彰した（表彰対象は正会員）。受賞者には記念品（図書カード）を贈呈した。

(2) 「常盤祭」支援

常盤祭実行委員会へ常盤祭開催経費の一部を助成した。

(3) 常盤キャンパスワンコイン朝食事業支援

工学部が実施する「常盤キャンパスワンコイン朝食事業」の経費を、山口大学生協・山口大学工学部教育後援会・常盤工業会が分担して支援した。

(4) 学生の自主的活動支援（「ときわスマートチャレンジ」）

「固定翼ドローン普及プロジェクト」（ヤマグチ UAV ボーイズ）、「Mechanical Suits」（lucky）、「YY Chemical Cooking 教室」（Y' s kitchen）の 3 団体に活動費の一部を助成した。

## II-2 会員交流親睦および相互啓発に資する事業

### 1. 会誌刊行事業

会誌「常盤」89 号・90 号冊子版、WEB 版を 7 月、12 月に発行した。

### 2. 学術文化交流振興事業

(1) 地域の留学生と日本人との交流

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、常盤工業会主催の第 33 回留学生交流会は中止とした。また、宇部留学生交流会主催行事もすべて中止となった。

（参考：平成 2 年より本会と共催で活動を行ってきた「宇部留学生交流会」（本会が運営事務を担当）は、令和 5 年 3 月 31 日をもって解散した。）

(2) 対外支援・交流

① 「山口大学同窓会」の支援

理事会への出席、分担金の支出、事業に対する協力（基金関連資料を会誌に同封等）を行った。

② 「宇部環境国際協力協会」の支援

宇部環境国際協力協会の法人会員として会費を支払った。

### 3. 会員交流事業

(1) 地域同窓会交流事業

① 情報共有（地域同窓会と本部）

本部と各地域同窓会で必要に応じて会員情報の共有化を図った。

② 地域同窓会代表者会議の開催

令和 4 年 11 月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

③ 各地域同窓会の活動に対する支援

地域同窓会（28 地域）に対し、活動費の支援を行った。

④ 交流活動（地域同窓会と本部、工学部）

地域同窓会会合（3 地域）へ本部役員、工学部教員が出席し、情報交換を行った。

(2) 学生と卒業生との交流

① 工学部ホームカミングデー

常盤工業会ホームページでの周知、山口県内および北九州地区同窓会会員（2,631名）に案内文と事前申込書を郵送し参加を呼びかけた。

②総会および地域同窓会代表者会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会後の懇親会および地域同窓会代表者会議は中止した。

(3) 学生に対する周知案内（配布物）

①入学時

入学生に対して、工学部を通して会誌 88 号を配布した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者会は中止となったため、常盤工業会紹介リーフレット、会誌 88 号の保護者への配布はできなかった。

②2 年次学科別オリエンテーション

常盤工業会会館の紹介として「会館のしおり」を、工学部を通じて配布した。

③卒業時

学部卒業生に会長からの祝辞文を同封し、記念品（名入れボールペン）を贈呈した。また、事務局からのお祝い文、住所連絡用はがき、常盤工業会紹介リーフレット（地域同窓会紹介）等を卒業生、博士前期修了生に配布した。

#### 4. 常盤工業会会館の有効活用および維持管理

(1) 会館施設の有効活用

①貸室および宿泊事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況に応じて利用を制限しながら運営した。

②テナント事業

- ・「株ふかの」と契約を締結した。（令和 4 年 5 月 1 日付）
- ・「山口旅行センター」との契約を解除した。（令和 4 年 8 月 31 日付）
- ・「手石幸江」と契約を締結した。（令和 4 年 9 月 1 日付）

(2) 会館施設の維持管理

- ・旧テナント「1・9 亭」（現株ふかの）ドア（2 ヲ所）の改修工事を行った。
- ・館内のエアコンクリーニングを業者に委託して実施した。
- ・西側駐車場境界塀改修工事は隣家との交渉が進まず、難航している。

### III. 法人管理運営部門

#### 1. 会員増強対策（住所把握・会費納入促進）の推進

- ①会誌、ホームページを活用して住所連絡、会費納入のお願いをした。
- ②新卒者へ、工学部を通して在学時のメールアドレスを利用して住所連絡のお願いをした。

#### 2. 会員拡大に向けての情報発信

- ①ホームページをリニューアルした。
- ②ホームページにて常盤工業会に関する情報発信を随時行った。
- ③工学部の修学支援システムを活用させていただき、常盤工業会の情報発信を適宜行った。

#### 3. 事業活動のあり方と常盤工業会の将来計画の検討

「事業活性化委員会」を発足し、常盤工業会の事業活動や財政状況の見直し、および将来計画についての検討を始めた。まずは、常盤工業会のリーフレット類の見直しを行った。

## 令和4年度事業報告書 付属明細書A

### 1. 令和4年度定時総会行事について

令和4年度定時総会

開催日 令和4年6月11日(土) 13:00~14:00

出席者数 代議員32名のうち32名

(本人出席6名、書面表決者26名)

理事 5名

監事 2名

当日の行事

常盤アドバンスドレクチャー2022(第1回) 15:15~16:30

講師: 山田 陽一先生(山口大学工学部長)

講座: 『半導体発光デバイスの研究開発動向~深紫外LEDを中心に~』

### 2. 山口大学工学部の支援および連携事業について

第5回工学部ホームカミングデーのちらし・リーフレット作成費用 150,000円支援

### 3. 工学部学生支援事業について

(1) 「常盤賞」受賞者(学業優秀者) 22名

小林 健悟(機械4年)	中本 匡哉(機械4年)	田中 啓志(社建4年)
中村 優太(社建4年)	木村 優妃(応化4年)	古橋 代都(応化4年)
水元 彩楓(電電4年)	木村 佑輔(電電4年)	濱田 拓也(知情4年)
西尾 未知(知情4年)	加納奈津花(感性4年)	加納奈津花(感性4年)
大西 龍生(循環4年)	神宮 佑紀(循環4年)	飯田 裕之(M機2年)
福丸 大智(M建2年)	荒井 佳真(M建2年)	原田 一輝(M建2年)
川崎 大輝(M化2年)	岡田 義久(M電2年)	HWANG JUNHA(M電2年)

佐々木健人(機械4年、数学統一試験)

(2) 学生が企画するプロジェクト活動の支援

「山口大学おもしろプロジェクト」の審査に応募した5団体に案内したところ、3団体より申請があった。8月4日に面談を行い執行部で協議の上、以下のとおり助成を行った。

- ① ヤマガチ UAV ボーイズ『固定翼ドローン普及プロジェクト』(6名) 130,502円  
山口県内での固定翼ドローン普及活動を行うとともに、生活を豊かにするための活用方法を検討する。
  - ② lucky『Mechanical Suits』(1名) 49,890円  
歩くことを補助する腰装着型の補助スーツを、3Dプリンターなどを用いて制作する。
  - ③ Y's kitchen『YY Chemical Cooking 教室』(12名) 168,213円  
小・中・高校生を対象とした訪問もしくはオンラインによる化学実験セミナーを実施する。
- 合計 348,605円

(3) 常盤キャンパスワンコイン朝食事業支援

- ① 令和4年5月9日~5月31日(土日祝除く)に実施。常盤工業会負担額 192,901円  
(利用者数 2,608人、値引き総額 581,000円)
- ② 令和4年11月28日~12月23日(土日祝除く)に実施。常盤工業会負担額 294,835円  
(利用者数 4,541人、値引き総額 898,947円)

### 4. 会誌刊行事業について

会誌「常盤」の発行部数および配布先

「常盤」89号 令和4年7月20日発行 66頁 21,900部

配布先: 住所判明全会員、工学部教職員、在学生帰省先

「常盤」90号 令和4年12月16日発行 34頁 8,000部

配布先：住所判明正会員、工学部教職員、当年度新入生の帰省先、次年度新入生

**5. 学術文化交流振興事業について**

第 33 回留学生交流会（常盤工業会主催）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたので特記事項なし

**6. 地域同窓会交流事業について**

(1) 地域同窓会代表者会議の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたので特記事項なし

(2) 各地域同窓会活動に対する支援金内訳

付属明細書B参照

(3) 地域同窓会総会への参加者（本部役員、教員）

10月1日 土木建設系関東常盤会

10月8日 常盤アドバンスドレクチャーおよび化学系関東常盤会

11月27日 山口大学岡山連合同窓会

中田幸男先生  
古林隆司副会長  
藤井輝夫会長

### 令和4年度 地域同窓会活動支援金内訳

(会費納入者数: 令和4年3月31日現在の常盤工業会データベースにおける令和3年度分会費納入者)

コード	地域同窓会名	前年度 会員数	①会員数	②会費 納入者	参考:②の 内終身会費 納入者	会費納入率 % ②/①	活動支援金額	備考
49	北海道	16	16	11	2	69%	<del>5,500</del>	活動休止中
	北海道地区	16	16	11	2	69%		
54	東北常盤会	31	30	7	2	23%	<del>3,500</del>	活動休止中
36	関東-機械	317	295	125	9	42%	62,500	
07	関東-資源・機材	138	133	44	1	33%	22,000	
26	関東-化学	379	365	126	17	35%	63,000	
37	関東-土木建設	325	321	117	9	36%	58,500	
42	関東-電気電子情報	369	363	106	28	29%	53,000	
44	関東-生産機械	89	87	25	0	29%	12,500	
	東日本地区	1,648	1,594	550	66	35%		
11	愛知	261	250	83	24	33%	41,500	
53	北陸	38	36	11	4	31%	<del>5,500</del>	活動休止中
	東海地区	299	286	94	28	33%		
01	関西-機械系	382	374	103	20	28%	51,500	
02	関西-資源系	114	111	26	0	23%	13,000	
03	関西-化学系	237	230	53	8	23%	26,500	
04	関西-土木系	273	268	79	8	29%	39,500	
05	関西-電気系	261	257	68	13	26%	34,000	
45	姫路	162	158	47	10	30%	23,500	
	関西地区	1,429	1,398	376	59	27%		
41	岡山	294	295	82	17	28%	41,000	
38	島根県庁	37	36	8	2	22%	4,000	
24	東広島	76	73	18	3	25%	<del>9,000</del>	活動休止中
35	呉	81	80	25	6	31%	12,500	
19	マツダ	227	235	42	20	18%	21,000	
27	日本製鋼所	42	44	11	6	25%	<del>5,500</del>	支援金辞退
46	広島ときわ会	137	134	58	6	43%	29,000	
31	三菱ケミカル	30	30	1	0	3%	500	
	中国地区	924	927	245	60	26%		
06	四国常盤会	18	18	9	0	50%	4,500	
47	四国常盤工業会	104	106	36	11	34%	<del>18,000</del>	支援金辞退
	四国地区	122	124	45	11	36%		
09	北九州	755	742	194	52	26%	97,000	
51	福岡	453	449	121	26	27%	60,500	
30	熊本	80	76	27	12	36%	13,500	
	九州地区	1,288	1,267	342	90	27%		
23	三新化学	11	10	4	1	40%	<del>2,000</del>	報告なし
52	トクヤマ常盤会	68	74	18	6	24%	9,000	
56	東ソー常盤会	67	82	26	13	32%	13,000	
29	山口県庁	182	192	58	24	30%	29,000	
22	下関市役所	31	32	9	6	28%	4,500	
50	山口ときわ会	42	41	16	0	39%	<del>8,000</del>	報告なし
	山口県地区(宇部除く)	414	431	131	50	30%		
16	宇部地区合同	1,026	1,044	418	40	40%	209,000	
合 計		7,166	7,087	2,212	406	31%	1,106,000	
							未送金額	-57,000
							送金額	1,049,000